

# 暴政に慣れる社会にしているのか？

— 原発，憲法，軍拡，税，国会・・・ —

元佐賀大学理工学部教授 豊島耕一

## 1 原発問題

玄海原発最近の話題：使用済み燃料保管量の拡大

九電発表の現在の余裕と拡張量によれば，40年寿命の2034年（3号機），2037年（4号機）に対して，満杯になるまで数年の余裕で（それぞれ6年，2年）保管できる．そのまま「永久貯蔵」になる恐れ．「リラッキング」＝すし詰め化．安全余裕の切り詰め．3号機ではMOX燃料が使われているが今回の九電の文書ではこのことに触れず．

2011年佐賀の「熱い夏」，再稼働一番乗りは阻止．2018年3月，3号機再起動，4月に4号機も．環境へのトリチウム放出も再開．

### 福島原発事故

2005年の九電公開討論会で提起したリスク指標「国民放射能近隣度」の現実化  
直後の横須賀基地の線量モニター／関東圏も含む大気・土壌汚染

福島市で大気汚染度を実測．2011年10月21日

セシウム134：613 マイクロベクレル/m<sup>3</sup>，セシウム137：829 マイクロベクレル/m<sup>3</sup>  
福島第一原発の当時の所長，故・吉田昌郎氏「チェルノブイリの10倍の規模の災害になるところだった」（2013/7/9の報道ステーション）

20ミリシーベルト帰還問題 GMカウンタの音で20ミリシーベルトを体感

## 2 軍拡問題・9条改憲問題

「島嶼防衛」と佐世保，佐賀，「海のノモンハン」の準備（ブログ記事）

→南西諸島での「衝突」を演出し，世論沸騰の勢いで改憲，というシナリオ？

「世界」最新号（2019年3月号）が南西諸島の軍事化問題の特集

PAC-3配備反対運動 既存平和運動団体の沈黙，益川敏英氏が久留米市長，芦屋町長にメッセージ（2010年2月および4月）

繰り返される「攻められたらどうするのか」に対する答えを「常備」しておく必要

「9条原理主義」と防衛・侵略の対称性，「代替防衛」

自国の加害行為に対する無知，歴史改竄．ドイツのナチスの行為に対する恒常的な記憶・展示施設の例「テロのトポグラフィ」．

## 3 戦争の原動力：軍産学複合体

アイゼンハワーの「軍産複合体演説」，実は「軍産学複合体演説」

フジテレビ「池上彰緊急スペシャル！！なぜ世界から戦争がなくなるのか」が過不足なく本質を突く．2016年2月12日放映．

アメリカのトップ大学での軍事研究の歴史「冷戦とアメリカの科学」翻訳．出版計画中

言葉による欺瞞を可視化する必要性:かつてオウムは殺人を「ポア」と称してごまかした。同様の「ラベル貼りかえ」によるごまかしは日常的に行われている。戦争←工業的殺人, 基地←殺人工業地帯, 軍事行動←殺人前提の集団行動, などなど。

たとえ基礎研究でも軍関係機関からの資金を受け取れば相手の「人間関係資本」となる。

戦争実行・兵器開発のための研究は「知的暴力」と呼ぶべきではないのか? (言葉の暴力, 数の暴力, 構造的暴力, 文化的暴力, などと同様) また, 兵器生産の労働は「労働暴力」

軍事研究禁止のグローバル化の必要性: 軍事転用される技術を予測し, 事前に禁止する国際機構 (R.E.Spier ほか, Science and Technology Ethics, 2002 年, p.211-212.

「ゴジラ」第一作での芹沢博士の選択。

#### 4 「民主主義」成立の条件

「民主主義」を名目だけにする要素: マイケル・ランドル, アインシュタインの指摘 (付録参照). 「自発的対称性の破れ」と「正のフィードバック」による強化. 「労働」をエネルギー源として資本・権力・メディア・教育機関とが形成するポジティブ・フィードバック・ループ(図).

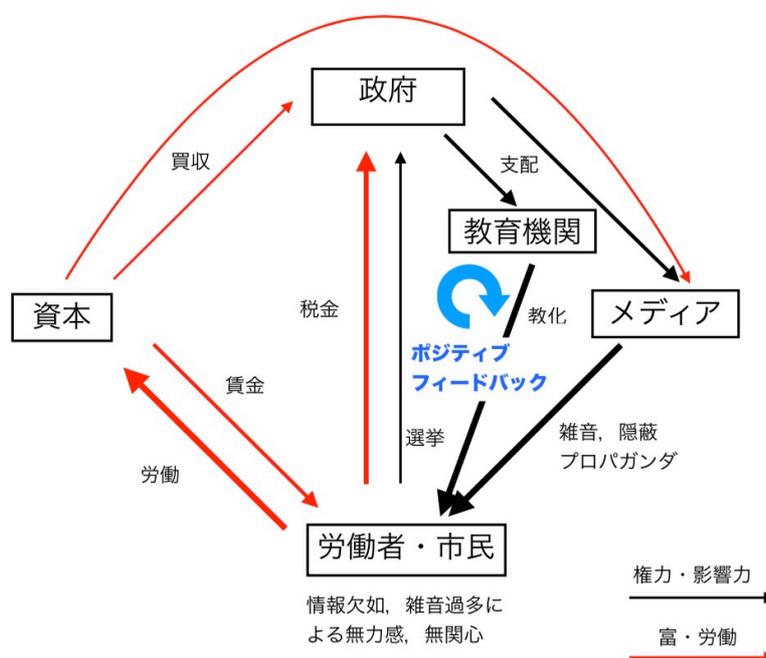
「対称性」の回復: 物理の世界では温度を上げる. 人間社会では, メディアに割り込むため, 非暴力直接行動 (NVDA) が必要. (ただし反動や「間接侵略」

の手段になっていることも事実. 例: リビアやシリア, ベネズエラなど)

NVDA を阻害するもの: 日本では「逮捕=相当期間の禁固刑」 → ゴーン氏の長期勾留問題 (籠池氏の場合も). 「逮捕されることが可能な」社会にすること, 弾圧に対する左翼・リベラル陣営の反応の格差.

NVDA の例: 原発再稼働阻止, 戦争法, INF 配備反対運動, 筆者のイギリスでの経験.

もう一つの提案: 「マルチチュード・メディア」= ご近所ポスティング  
インターネットは, 相互に交流のない複数世界, リンゴの虫食い穴.



#### 5 文化の問題

文化装置: 「道徳ポルノ」としての水戸黄門ドラマと, 「一揆」を素材にしたドラマの不在. 「アイヒマン」からの脱却, 良心を発動させる制度と文化 (組織上の不服従).

(アンダーライン部分はグーグル検索で上位で筆者ブログ「ペガサス・ブログ版」記事または引用記事へ)

付録などはこちら: <http://ad9.org/pegasus/docs/nagasaki/> 筆者ツイッター: @yamamoto2007